

# 「ロディベート」が

## 鍛える!?

### 「コミュニケーション能力UPのヒント



この夏、附属姫路高校が出場した全国高等学校野球選手権大会が兵庫・甲子園球場で開幕した頃、東洋大学を会場にもつひとつの「甲子園」が開催された。その名は第11回全国中学・高校ディベート選手権こと「ディベート甲子園」。全国の子選を勝ち抜いた中学24チーム、高校32チームの若き論客たちが、8月5、6、7日の3日間、全国大会会場である白山キャンパスで熱戦を繰り広げた。

「ディベート甲子園」高校の部・決勝(県立会津高校(福島)VS創価高校(東京))。わずか数分の中で淀みなく論理を展開し、その論題の是非を確信させることがこれほどまでに美しく、人を感動させるものなのか、と聴講者の誰もが思った瞬間。割れるような拍手が円了ホールに鳴り響いた。

近年、企業では社員研修の手法として取り入れるところが増え、採用試験に用いるところもあるという「ディベート」。中・高校生の「総合的学習の時間」やクラブ活動で取り組む学校も少なくないという。このようにディベートが広まりつつある背景には、いま時代のキーワードともいえる「コミュニケーション能力」を高める方法として、注目されているからのようなのだ。

「ディベート甲子園」実行委員長でディベートの普及に努める全国教室ディベート連盟常任理事・青木新作さんに「ディベートとは何か、そして社会が求めるキーワードとの関わりを解説してもらった。

## 「ディベート」とは何か

ディベートの一般的な定義は、ある特定のテーマの是非について、2グループの話し手が、賛成・反対の立場に別れて、第三者を説得する形で議論を行うこと」とされています。例えば、今年の「ディベート甲子園」高校の部の論題であった「日本は道州制を導入すべきだ」というテーマであれば、聞き手に対し、賛成派は道州制導入によっていかにメリットが多いかを訴え、反対派は導入によっていかにデメリットが多いかを訴えます。こうした形の議論は、実社会でも頻繁に行われています。

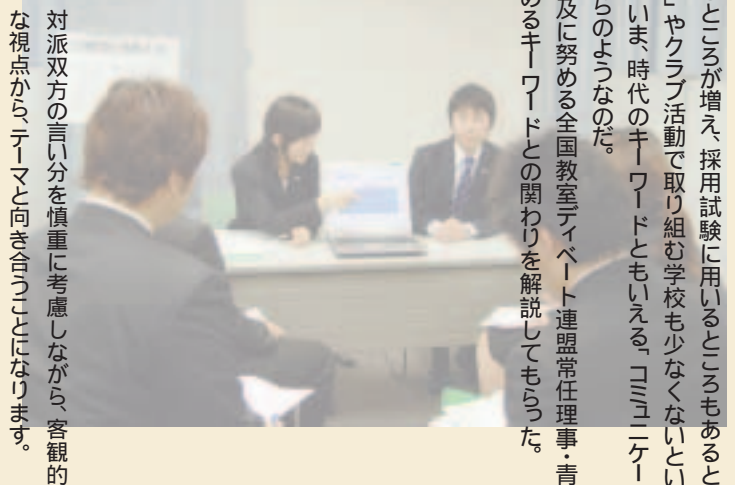
ディベートにはさまざまなタイプのものがありますが、日本では一般的に「教室ディベート」のことを指し、ジャッジが勝敗を決めるゲーム形式を取りまします。実際の試合では、賛成側・反対側の割り振りは自分の意見に関係なくランダムに決められます。従って、試合に向けて準備する過程では、自分の個人的な主義主張をいったん脇において、賛成派・反対派

## 社会が求める「コミュニケーション能力」とは

こうした連日の議論の過程を通じて、

- ・ 批判することにより客観的・多角的な視点が身に付く。
- ・ 論理的な思考ができるようになる。
- ・ 自分の考えを筋道立てて、人前で堂々と主張できるようになる。
- ・ 情報収集・整理・処理能力が身に付く。

などの能力が向上します。最近、企業などが盛ん



対派双方の言い分を慎重に考慮しながら、客観的な視点から、テーマと向き合うこととなります。

試合では、はつきりとした理由・筋道をつけて自分たちの主張を正確に相手に伝え、納得してもらうことが求められます。論拠を明らかにするため、専門家の発言を引用する場合がありますが、そのためには論題にそった論文や文献を、何十冊と調べることが必要になるでしょう。また、チームを組んで試合をする場合には、互いに意思疎通をはかり、主張に「貫性を持たせることも大切な要素です。

に、「高いコミュニケーション能力を持った人材が欲しい」と言いますが、それでは「コミュニケーション能力」とは何か、みなさんは理解されているでしょうか? 「良好な対人関係を持てる人」「色々な人と話せる人」という漠然としたイメージではないでしょうか。ここでいう「コミュニケーション能力が高い人」とは、「論理的思考を携えて、円滑で調和の取れた意思疎通ができる人」のことを指すのです。



今回、「ディベート甲子園」をゼミ生とともに見学し、授業でも8年前からディベートの手法を取り入れている三浦聡経済学部講師にコメントをいただきました。

Q 「ディベート甲子園」を観戦されていたか？

各試合において、立論のパートでは明確な根拠に基づいた主張が示され、質疑応答のパートでは断然なく激しい応酬が交わされ、反論のパートでは相手の主張に対して即時に反論がなされています。高校生ディベーターの論理的・批判的な思考能力が極めて高いことに感銘を受けました。来夏はぜひ、多くの学生に観戦してもらいたいですね。ある論点についての賛否両論を聞くことで、物事を複眼的にとらえつつ深く突き詰めて考えることの大切さを学べるはずです。

Q 8年前からディベートに取り組まれているそうですが、

私のゼミでは年間を通じたディベートに取り組み、今年度の前期はほぼ毎週「公立小学校での英語教育を義務化するべきである」や「日本に米軍基地は必要である」などの論題をめぐるディベートを行いました。互いのパフォーマンスを評価しあい、他人の優れた点に学びつつ自らの欠点を修正する。ゼミ生が互いに切磋琢磨できる点が魅力ですね。

Q ディベートで身につけた能力は将来どのように活かされると思いますか？

ディベートを重ねることによって鍛えられる、情報収集能力、批判的・論理的思考能力、コミュニケーション能力、即応力は、社会で活躍する誰もが持つ基本的な能力です。様々な選択肢のメリットとデメリットを分析する。自分の主張や行動の根拠を明快に説明する。他人の意見を正確に理解して、それに対して自分の意見を述べる。たとえば以上のようなときに、ディベートで培った能力が活きてきます。その意味では、就職活動での面接も「御社は私を採用すべきである」という論題をめぐる、学生と企業との間のディベートと見ることもできるかも知れませんね。

三浦ゼミ学生の感想より……

ロジックをしっかりと説明できている点を見習いたい。論理の組み立てを十分に理解していることが伝わりました。自分が理解しているからこそ、相手に理解させられるのだと思います。(3年/齋藤美菜さん) どのチームも下準備が素晴らしい。発表で詰まることなく時間をしっかりと使っていました。一方でスピードが速く、一般の人にはついていけない面も。熱弁することも良いけれど、「聞き手が楽しめる発言」も大切だと思います。(3年/高野祐介さん) 大事だと思ったのはチームの意志疎通。チームで一貫した立論を持っている所は強く、反論されても逆にカウンターをする位の強さを持っていた。これからのディベートに大変参考になった。(3年/岡本悟梨さん) ディベートは限られた時間で互いに相手のメリット(デメリット)を潰して自分たちのメリット(デメリット)を生かすかという言葉のスポーツ。その魅力を存分に楽しめた。自分の意見を相手にしっかりと伝えるための訓練であることを改めて認識した。(3年/五十嵐修平さん)



社会経済システム学科では毎年12月に各ゼミ1年生対抗による「ディベート大会」を実施。論戦もさることながら、学生の手による音響や映像などの仕掛けにも趣向を凝らした大会だ。

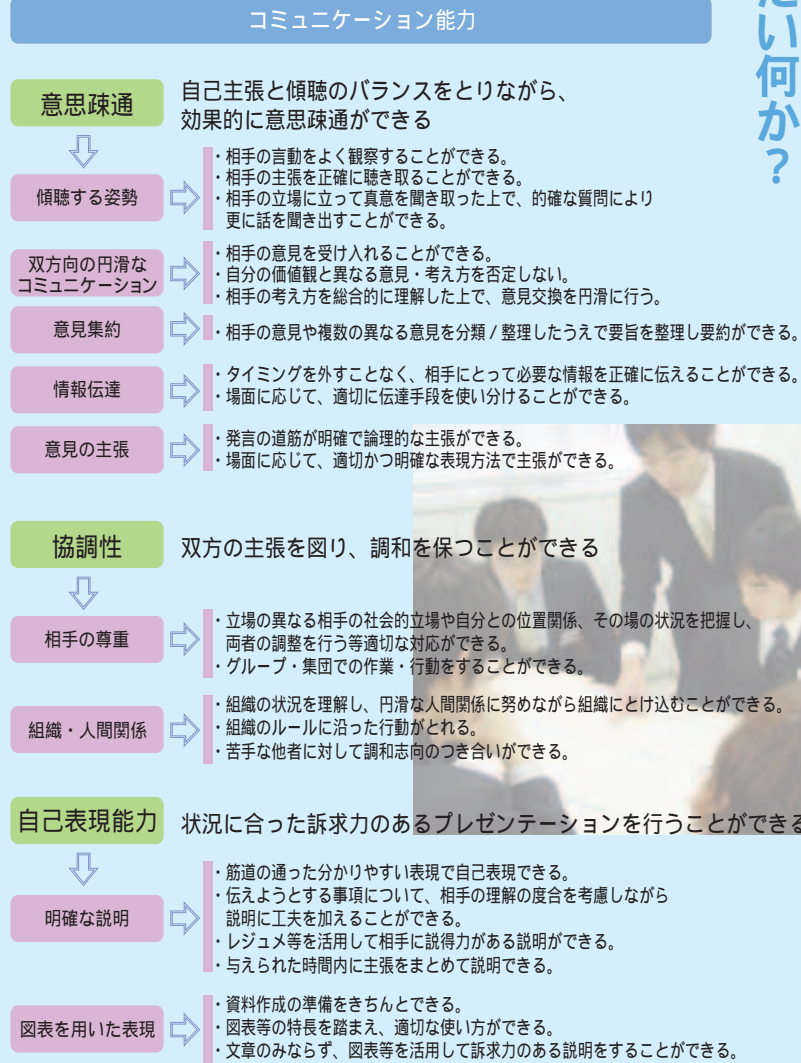


立論者と質問者の応答からなる「法学部長杯争奪法律討論会」も一部ディベートの要素を含んだ討論会といえようか。第20回目の今年は10月27日(金)に開催します。(会場:井上円了ホール13時~)

このほか、後期に開講する「全学総合科目 B-実践!日本語にチャレンジ」ではディベートのプログラムも用意。論理的な議論の仕方学びます。

「コミュニケーション能力」とはいったい何か？

参考:厚生労働省が定める「若年者就職基礎能力」( )における「コミュニケーション能力」の定義と大卒レベルに望まれる資質



企業が若年者に求める具体的な能力を浮き彫りとするため、若年者の就職能力に関する企業実態調査を行ったもの(1,472社回答、04年1月公表)。この調査で、半数以上の企業が採用に当たって重視し、比較的短期間の訓練により向上可能な能力を「就職基礎能力」とした。ちなみに上位から「コミュニケーション能力」「職業人意識」「基礎学力」「ビジネスマナー」「資格取得」。(厚生労働省ホームページより)

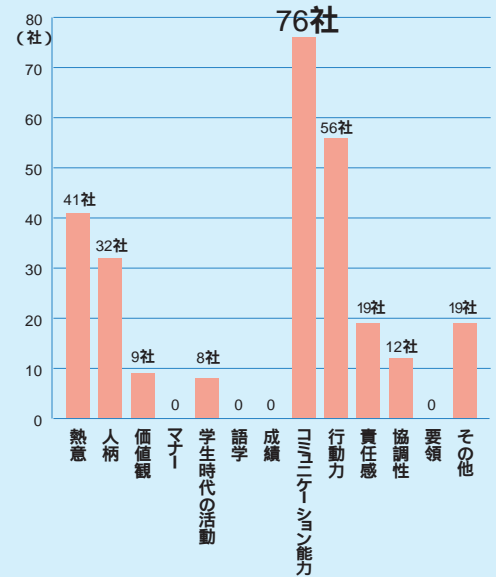


塩川正十郎総長と橋本五郎氏(読売新聞論説委員)がディベートをテーマに特別対談。コーディネーターは今村肇経済学部教授。「相手から本音を引き出すためには、自分も本音で。率直に話すのが大事」(塩川総長)。「人前で話すときは12年前に亡くなった81歳の母に語りかけるようにゆっくり分りやすく、心をかけている。どんなに難しい話でもこれは基本です」(橋本氏)。

企業が求めているのは「コミュニケーション能力」がダントツ!

朝日新聞社が主要企業100社を対象にした07年春の新卒者の採用計画調査(採用にあたって重視している能力を3つ選択)では、「コミュニケーション能力」が抜きん出た。また、選択肢以外の自由記述欄には「論理的思考力」が最も多く挙げられたという。エントリーシートや面接でも「論理的に物事を考えられるかどうかを見ていた」(アサヒビール)とのこと。また、記事では「企業が求めるコミュニケーション能力を学生はやや誤解気味。仕事をする上で必要な対話ができるかどうかを企業は見ている」としている。

参考:「採用にあたって重視する能力」(2006年3月20日掲載、朝日新聞社「07年春主要100社採用計画調査」より)



ディベートの流れ

実際のディベートがどのように行われるかを紹介します。このようなターンに準じて、論題については「非の手」に別れ議論しあうゲームは、論理的思考力を身につける「上で大変効果的です。」

「教室ディベート」試合の進み方

